

「持続可能な復興広報を考える検討会議」

～風評被害の払拭と風化対策を図るための情報発信の手法を考える～（第1回）

議事要旨

- 1 日 時：令和4年10月3日（月） 15:30～17:31
- 2 場 所：中央合同庁舎4号館4階第2特別会議室
- 3 出席者：秋葉復興大臣、
五十嵐構成員、伊沢構成員、岡田構成員、開沼構成員、
河井構成員、佐久間構成員、殿村構成員、富永構成員、
森下構成員、ほか関係府省庁

議事の概要：

（1）原子力災害に伴う風評の払拭に向けた取組等の現状

- ・復興庁の取組について

復興庁より、風評払拭に向けた取組の報告が行われた。

- ・関係各府省庁の取組について

原子力災害による風評被害を含む影響への対策タスクフォース関係各府省庁より、風評払拭に向けた取組の報告が行われた。

（2）構成員からのプレゼンテーションについて

構成員より、「福島県産品の復興に係る四層の課題とコミュニケーション上の留意点」というテーマのもと、

- ・“「福島県産品」の需要拡大”を“復興”と考えた場合、その復興の実現には、①流通段階で失った棚の回復、②消費者側の「なんとなく」の不安感を払しょくするための情報のアップデート、③消費者と、情報の発信側との間の信頼構築、④他者の選択との向き合い方、という4つの課題への対応が必要であること

- ・また、コミュニケーションに当たっては、現在も不安を抱いている人、デマに苦しめられてきた当事者、それぞれに寄り添い、相互の意思決定を尊重することが重要であること、などについての講演をいただいた。

（３）意見交換について

各構成員より、これまでの復興との関わり、広報や情報発信に対する考え方等についてコメントをいただいた。